

きたそらち

2024
4月号
No.277

～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



3月22日、経済部車両機械課が「農作業安全講習会」を開催し、トラクターのシーズン前点検のポイントを確認しました！

→記事の詳細は6ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram

JA.KITASORACHI

目次

- 札幌で発見！きたそらちのお米！…………… 2～3
- いずみ・わかやま産直産地交流会…………… 7
- WC S 作付拡大－栽培講習会を開催－ …… 8
- 令和6年度機構図 …………… 12～14

札幌で発見! きたそらちのお米!



ring ring

北海道初!
米粉100%で作られた
グルテンフリーのバウムクーヘン
が大人気!

場所: コノススキノ地下1階(札幌市)
(※)本店は札幌市中央区

営業時間: 10:00~21:00

《おすすめ・値段》※取材時

『Cheese in baum』

・プレーン.....¥370(税込)

・チョコ.....¥390(税込)

令和5年11月30日、札幌市にオープンした商業施設「コノススキノ」の地下1階にある、当JAの米粉100%で作られたバウムクーヘンを販売する『ring ring』

日持ちするため贈答用としても需要があり、幅広い客層から愛されている。

日本人のお米の消費量が減少していることから「(株)SYOKUSAN」は原料の米粉の販売を行っていたが、原料だと魅力があまり伝わらなかったことで、バウムクーヘンを販売する現在のスタイルに。この米粉販売時から当JAとの取引を頂いている。

使用されている品種は「きらら397」で、担当の佐々木さんは「試作の時に沢山のお米を試し、その中で製菓に適していたのは『きらら397』でした」と話す。

また米粉のバウムクーヘンはグルテンフリーで、アレルギーの方も安心して楽しむことができる。

中には「バウムクーヘンが食べられる日が来ると思わなかった」と泣いて喜ぶお客様も。

きたそらちのお米で出来たバウムクーヘン。札幌に訪れた際はぜひお楽しみ下さい。



▲(株)SYOKUSAN
佐々木遥香さん

韓国家庭料理 チェゴヤ

お米はうりゅう米!
北海道産の食材にこだわった
韓国家庭料理!

場所: 東急百貨店10階(札幌市)

営業時間: 11:00~22:00 (Lo:21:00)

《おすすめ・値段》※取材時

・チーズタッカルビセット...¥1,820(税込)

・スンドゥップとプルコギ丼セット...¥1,788(税込)



札幌駅直結、東急百貨店10階にある「韓国家庭料理チェゴヤ」

ご飯時を過ぎても来客者が途切れることがなく、これまで8割が女性客だったが最近では男性客も増え、幅広い客層が訪れる人気の韓国料理店だ。

食材は北海道産にこだわり、お米はうりゅう米「ななつぼし」を使用している。

八柳店長が雨竜地区の組合員と親戚である繋がりでも令和元年から当JAとの取引を開始し、うりゅう米を使用いただいている。(年間契約量=約5t)

当店の料理に合うのは「ななつぼし」と話す八柳店長は「お客様からも『ご飯が美味しい』という声を頂いている。これからもご飯に合わせた料理を提供できれば」と笑顔で意気込む。

アツアツで「最高(=チェゴ)」な韓国家庭料理をうりゅう米と一緒に楽しめる。札幌に訪れた際はぜひお楽しみ下さい。



▲八柳俊太 店長



JOHNSON'S TEA LOUNGE

日本茶をもっと身近に。
落ち着いた空間で、
ふかがわ米も楽しめる！

場所：The JOHNSON STORE 2階（札幌市）

営業時間：11：00～19：00（Lo18：30）

《おすすめ・値段》※取材時

・塩麴チキンプレート・・・¥1,170（税込）

・ローストビーフボウル・・・¥1,270（税込）

札幌市中央区大通にあるThe JOHNSON STOREの2階「JOHNSON'S TEA LOUNGE」（ジョンソンズティーラウンジ）は「日本茶をもっと身近に」をコンセプトに、日本茶とあわせてランチやスイーツを提供する飲食店。札幌中心部にあるため仕事の休憩中に訪れる会社員やカフェ巡りするカップルなど様々なお客様に愛され開店から5年目を迎えた。「以前は業務用の「ななつぼし」を使用していたが1～2時間経つと黄ばんだりパサパサになり、お客様の残食が目立ち『米が固い』と言われたこともある」そう振り返るのは下山店長。令和5年産より当JAと取引を開始し、ふかがわまい「ななつぼし」に変えてから以前のようなことは無くなり、リピーター客から「前よりもお米、美味くなったよね？」というお言葉も頂いたという。（年間契約量＝約1.2t）

下山店長は「日本茶をメインにしている以上、メニューは和風テイストでお米は必須。飲食店に行ってお米が美味しくなかったらもう1回行きたいとは思わない。お米は料理を「おいしい」と思ってもらえる大きな一つの要素」と話す。

おしゃれで落ち着いた雰囲気のカフェで、日本茶とふかがわまいを一緒に楽しんでみては。



▲下山翼 店長

農業 振興部

女性大学「カレッジあみていえ」3期生 卒業式・記念講演

3月8日、当JAの組合員（正・准）やその家族である女性を対象とした、JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」3期生の卒業式が挙行された。

「カレッジあみていえ」はJAきたそらち管内の女性が「食と農」「暮らし」「文化」「環境」などの学習を通じて知識や技術を高め、自分磨きや新たな仲間づくり、心豊かな地域づくりを深めることを目的に開校しており、この日は3期生11名のうち10名が出席した。

卒業にあたり、同大学の松田直人学長（JA代表理事専務）は式辞の中で「皆様が手にされた卒業証書は、ひたむきに歩み続け、「学ぶ」ということに真剣に向き合ってきた証であり、一緒に受講してきた仲間との絆の証。長い人生のたった二年と思うのではなく、この女性大学で学んだこと、訪れた場所、出会った人を思い出しながら、これからの生活に実りあるような二年間だったと感じていただきたい」と述べた。

また当日は、記念講演もあわせて行われ、当JA農業振興部 後藤圭一部長が講師として「食品ロスについて」と題し、生産から収穫後、加工、流通、消費に段階を分けたグラフを使って世界の食品ロスの現状を説明した。さらに日本国内の企業が取り組んでいる食品の鮮度保持事例、販売方法の工夫による食品ロス削減についても説明し、「国民一人ひとりの、ちょっとした意識が地球環境を守る。食品の保存方法などできることから始めていってほしい」と呼びかけた。





深川市新規就農等受入協議会 内部研修会・(株)深川未来ファーム研修生との交流会を開催

2月13日、深川市新規就農等受入協議会（佐々木伸介会長）が内部研修会と(株)深川未来ファーム研修生との交流会を開催し、同協議会員や(株)深川未来ファーム研修生、関係団体職員など、計26名が参加した。

『内部研修会』では、同協議会員でもある農事組合法人ユキノー（多度志地区）の赤澤晃光代表と同従業員の吉田尚人氏をパネリストに迎え、パネルディスカッションを実施。同法人は、同協議会の活動として一昨年に開催した『JAきたそらち雇用就農フェア』を通して吉田氏とマッチングし、雇用就農に結びついている。

『深川市における雇用就農を考える』をテーマに、赤澤代表は、『吉田氏を受け入れてからの大きな変化』、また吉田氏は『就農にあたり心掛けたこと』等について、実際に雇用就農した（受け入れた）体験談を話し、参加者からの質問にも回答した。また赤澤代表は『指導する中で大変なこと』について、『人に教えながら作業する』経験が無く戸惑いがあったが、『分かりやすい手順を伝える』ことで構成員全員の勉強にもなった。作業内容を詳しく教えて理解してもらう伝え方や、作業のマニュアル化も大事だということ共有したい』と回答した。さらに『研修生へのアドバイス』については、『農業を志した以上、やりがいをもって続けられるような技量を研修中に身につけ、仲間意識をもってほしい。地道に努力することが大事であり、多くの人に深川市で農業を目指してほしい』とエールを送った。



その後の『(株)深川未来ファーム研修生との交流会』では、昨夏の同交流会と同様に、研修生と受入農家をグループ分けし、研修生からは就農に向けての目標や現在の悩みなどを打ち明けて頂き、同協議会員がアドバイスする形でグループディスカッションを行った。終了後は、同会場で交流を深めた。

農業 振興部

『令和5年度 深川市新規就農者冬期集中講座』

2月19日から22日の4日間、拓殖大学北海道短期大学にて深川市内の新規就農者等を対象とした「令和5年度 深川市新規就農者冬期集中講座」が開催され、当JA青年部深川支部の部員や同市地域おこし協力隊、同市内新規就農者などの23名が参加した。

同講座は、当JAや同市、深川商工会議所および拓殖大学北海道短期大学が昨年12月に締結した「包括連携協定書」の一環として行われたもの。

同講座の開講式で、田中昌幸深川市長は「現在、物価高騰や担い手不足など農業を取り巻く環境で様々な課題が生じているが、水稻をはじめとした様々な農作物を実践的に学べる本講座で得た経験や知識を糧に、深川市の農業を担って地域をさらに盛り上げていただきたい」と挨拶した。

同講座では、初日に必修として「就農のための農業基礎知識」や「世界の食料事情と日本農業」、2日目以降は選択制として、水稻や畑作物、食品加工、花き類など、さらに専門的な講座が行われ、参加者はそれぞれ関心のある講座を受けた。

今回の講座に参加した新規就農者は「今後、営農するうえで確かめておきたい知識をしっかりと学べて良かった」と感想を述べた。



「北育ち元気塾」閉講式と第7回研修会

農業
振興部

2月14日、深川市「日の出会館」にて「北育ち元気塾」の令和5年度閉講式が行われ、元気塾生や関係機関など31名が出席した。

閉講式では、同塾を運営する北空知農業後継者育成支援協議会の中西秀幸会長が「今年度で卒業される塾生は、2年間の研修を通して身につけた知識や経験を今後の営農に活かし、来年度も参加される塾生は引き続き沢山学んでいただきたい」と挨拶し、続けて皆勤賞の表彰や令和5年度の研修実績の報告が行われた。

閉講式に続き同年度最終となる第7回研修会が開催され、普及センターの職員より昨年のお米生育状況の結果を基に稲作の反省と課題の報告や、北海道指導農業士の野原利浩氏（一已地区）による講演「40年農業に携わって」が行われ、就農してから今に至るまで野原氏自身が経験した農業に関する出来事を振り返った。

講演を聞いた塾生は「どの時代でも農民のたくましさや柔軟さを感じ、めげないことの大切さを学んだ」と話す。



中西会長による挨拶



卒業証書を受け取る塾生

営農学習会で

「高密度播種と疎植栽培」を学ぶ

JA
JA YOUTH
青年部
だより

3月6日、JAきたそらち青年部（宮田雅大部長）が営農学習会をJA本所で開催し、43名の部員が参加した。同部による営農学習会は、日々の営農に係る栽培技術や知識の向上などを目的として様々な内容で毎年開催されており、今年はお米に関する「高密度播種」と「疎植栽培」を主題に空知農業改良普及センター北空知支所より2名講師を迎え、2つの講演が行われた。

1つ目の講演では、普及指導員の山黒彩菜氏が「令和5年産米作柄について」と題し、令和5年度のお米生育状況の結果をもとに稲作の反省点と課題点を説明。昨年度は高温障害の影響もあり、山黒氏は「今後も高温が続くようであれば、高温耐性品種や晩生品種の開発と導入または移植時期の変更などが考えられる」とまとめた。

2つ目の講演では、地域第三係長の須佐直氏が「高密度播種短期育苗およびお米疎植栽培について」と題し、各生育方法のメリットと注意点、導入時に必要な農業機械の性能や費用などをメーカーごとに比較し、また同センターにおける過去の試験結果をもとに収量や品質など生育状況について説明した。須佐氏は「2つの生育方法を説明したうえで最も重要なのは、移植時期の調整やそれに伴うほ場の準備、そして水管理といった基本的な部分である」などとまとめた。

参加した部員は「昨年のお米高温障害はお米の生育や品質に大きく影響したが、今回の講演で学んだことを活かし、今年はお早い段階から対策を立てようと思った」と感想を述べた。



山黒普及指導員に質問をする青年部員



須佐係長による講演

第24回 女性部通常総会

女性部
だより

2月21日、JAきたそらち女性部（高田聡子部長）の第24回通常総会が当JA本所にて開催された。

総会前には、（株）青山プロダクション青山タ香代表取締役による「アンガーコントロールと人付き合いがぐんと上手になる方法」と題した学習会が行われた。

普段何気なく行っている会話について、話し方や体勢を少し変えるだけで相手に好感を持たれることを実践を伴い青山代表が説明。部員同士が実践したところ「些細なりアクションだけでも気分よく話せる」「実際にやってみるとこんなにも印象が違ふと思わなかった」など、明日からすぐ実践出来る話し方のコツを学んだ。

また、アンガーコントロールについては、怒りの感情をどうやって受入れて対処すればよいかを診断し、意外な自分達の一面を知る事ができた。

その後、第24回JAきたそらち女性部通常総会を行い、議案が原案通りに可決され令和6年本部役員が決まった。



役職	氏名	支部
部長	高田 聡子	雨 竜
副部長	松田 和枝	北 竜
副部長	山内 和美	幌 加 内
理 事	村澤 紀江	イチヤン
理 事	滑川 敏恵	深 川
理 事	荒井 理恵	納 内
監 事	三谷 好美	音 江
監 事	大井 倫子	多 度 志

今年の農作業も安全に 農作業安全講習会・トラクターシーズン前点検

経済部

3月22日、農作業安全講習会を開き、農作業時の事故防止を目的として注意喚起を行った。この日、講習会に8名が参加し過去の事故事例をもとに対策法などを学んだ。

ホクレン岩見沢支所 安井遥亮氏を講師に迎えて行われた農作業安全講習会では、農作業が天候に大きく左右されることや周囲の農家と作業の進捗状況を比較することから焦ってしまいゆとりを持った作業ができないこと、さらに気のゆるみや疲労の蓄積などが事故の原因となることを道内の事故事例を挙げながら説明した。

また、これからの農閑期には事故事例の確認を行い、対策を考えておくことが大切であるとし、「皆さんに無事でいてほしいという想いで講習会を開いている。ミスをしてしまった時は“こういうところでミスをするんだ”と思いなおし改善をしていって欲しい」と話した。

続いて行われたトラクターシーズン前点検では、当JAイチヤン整備工場 齊藤工場長からベルトの消耗やオイルの不足・劣化など使用前のチェックすべきポイントが説明された。

その後、実際にトラクターを使って、点検時に気を付ける点や点検箇所などの確認を行った。

またあわせてドローン安全講習会とドローン新機種説明会も行われ、動画を用いたの新機種紹介やドローン飛行前に確認すべき点決めておくべき点などが説明された。

この講習会を企画した車両機械課 大橋誠矢課長は「これから農作業が本格的に始まっていく。組合員によっては人を雇用している場合もあると思う。自分だけでなく従業員や家族を守ることも考えて対策をしてほしい。また、機械は初期段階に修理することにより修理代が少なく済む場合もある。少しでも修理代を減らし経費節減に努めて頂きたい」と話す。



ボランティア野菊の会

保育園と小学校へ笹だんごを贈呈



3月4日、ボランティア野菊の会（竹内寿子会長、会員9名）が笹だんごづくりを行い、深川市多度志地区の保育園と小学校に贈呈した。

多度志の特産品「笹だんご」は、深川市の道の駅やJR深川駅、市内の各イベントなどで販売している。

この贈呈は、地域の味を子どもたちに伝えたいという想いや地産地消の意味を込めて平成12年から毎年桃の節句に合わせて実施している。

会員が丹精を込めて作った71個の笹だんごは、保育園と小学校へ竹内会長が訪問し園児や児童に「みんなで食べてね」と手渡した。受け取った園児は「ありがとうございます。美味しくいただきます」と元気にお礼を述べた。

また、今年は保育園で園児と一緒に昼食を食べ、楽しい交流の時間を過ごした。

【深川支所 正田】



いずみ・わかやま産直産地交流会



2月29日、ホテル・アゴーラリージェンシー大阪堺（大阪府堺市）にて「第14回いずみ・わかやま産直産地交流会」が開催され、多度志水稻生産協議会の板垣政友会長と女性部多度志支部の大井倫子支部長、村上明美理事及び当JA役職員4名が参加した。

開会にあたり、全農パールライス（株）専務取締役営業本部長宮崎章氏が「交流会は全国の産地、生産者と生協組合員との幅広い交流で食料自給率向上と豊かな地域社会づくりを応援する事などを目的に、年1回、食や生産問題に取り組む場として開催している」と挨拶した。

産地報告では、101の産地の中から当JAが選ばれ、販売部米穀課高木真樹課長が北海道弁を交えながら「JAきたそらちのお米の取り組み」について報告をした。また参加した生産者もこめつち法被を羽織って登壇し、400名近い参加者の前で産地PRを行った。

パネルディスカッションでは同生産協議会の板垣会長がパネラーとして出演。「北海道 JAきたそらち」・「宮城県 JAみやぎ仙南」・「新潟県 JA魚沼」の産地代表者3名がテーマ「米」についてそれぞれの産地紹介や、米の作柄など順番に発表した。

昨年は全国的に高温障害と水分不足で品質が悪かった事や、肥料を始め経費が高騰しており、輪作やICT技術の活用などコスト削減の努力をしてもなかなか収入が上がらない事などが説明された。どの産地も経営規模や環境の違いはあるが将来の展望をしっかりとって農業に取り組んでいる事がうかがえた。

また、今年のいずみ市民生協・わかば市民生協のお米予約登録チラシの表紙に板垣会長とJAきたそらち青年部深川支部佐々木勝哉地域振興部長が掲載され生協組合員に配布されている。板垣会長は「お客様に美味しいお米をたくさん食べて頂いて消費拡大の協力をお願いし、産地は安全で安定的に美味しいお米を提供していく使命を果たしたい」と話す。

【深川支所 正田】



WCS作付拡大 ー栽培講習会を開催ー

幌加内支所

3月5日、WCSの栽培講習会が当JA幌加内支所で開催され、深川地区および北竜地区組合員を含む約50名が参加した。幌加内地区では昨年WCSを125ha作付けしており、今後は輪作体系の品目として取り込むことも視野に入れている。

はじめに上川農業改良普及センター士別支所の鎌田慎也氏から「稲ホールクローブサイレージ栽培勉強会～栽培編～」として栽培のスケジュールや施肥・水管理の注意点などを昨年のデータを使いながら説明が行われた。

続いて同センターの林悟氏が「稲WCSの収穫のポイントと事例」と題し、稲の刈り取りの高さについて、さらに乳酸菌を増やす方法として水分量や梱包のタイミング、切断面や異物混入を避けることなどを説明した。

最後に同センターの立浪直剛氏が「剣淵町での乾田直播稲WCS栽培事例の紹介」と題し乾田直播栽培のメリットや注意点、同町で行った際の作業工程などを説明した。

また今回の講習会にはWCSの買い手となるノベルズグループの職員3名も参加し、良質なサイレージを求めていきたいと期待を伝えた。

田丸利博地区代表理事は「私たちの取組が北海道・全国のWCSの基準になるよう今後はJA管内にも拡大していきたい」と意気込む。



イチヤン支所協和会 定期総会を開催

金融
共済部

3月6日、一巳公民館でイチヤン支所協和会（会員47名）の第41回定期総会が開催され、会員24名が参加した。

総会に先立ち、1月27日にご逝去された野坂会長（現職）のご冥福をお祈りし黙祷を捧げた。

本総会の議事では令和5年度事業・収支決算報告と令和6年度事業計画が原案通り承認され、役員改選では横井幸一氏が新会長に就任した。本年も事業として花見、研修旅行、温泉湯治を実施予定。

一巳地区の60歳以上の組合員で本会にご興味がある方は金融共済部融資課までお問い合わせ下さい。

【金融共済部融資課 山田】



退職者

長い間大変お疲れ様でした



金融共済部
井上 正恵



監査室
竹原 優晴



金融共済音江支所
前田 みゆき



経済部車両機械課
川本 達也



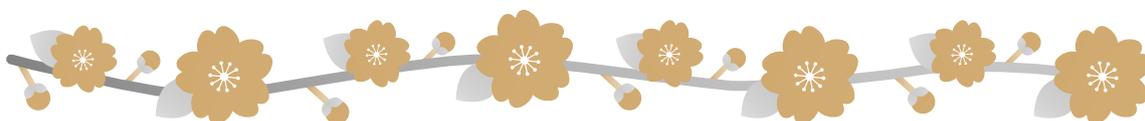
経済部燃料課
林 圭二

井上正恵さんは旧幌加内農協に奉職以来41年、竹原優晴さんは旧納内農協に奉職以来37年、前田みゆきさんは旧音江町農協に奉職以来41年、川本達也さんは旧北竜町農協に奉職以来35年、林圭二さんは旧北竜町農協に奉職以来33年ご勤務いただきました。長い間大変お疲れ様でした。

なお、前田さんは金融共済部渉外課にて、再雇用となります。

大変お疲れ様でした (令和6年2月29日付)

◆金融共済部 金融共済雨電支所 辻 彩瞳



組合員の動き

(令和6年2月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,197	2	8	1,191
	団体	106	1	0	107
准組合員	個人	5,398	6	7	5,397
	団体	268	0	0	268
正組合員戸数		853	0	4	849

JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和6年2月実績

○累計 (R5.12~R6.2)

発電電力 **37,034kWh**

発電電力 **62,599kWh**

計画対比 +26,170kWh

計画対比 +31,291kWh

前年対比 +19,099kWh

前年対比 +26,120kWh

売電金額 1,481,360円 (40円/kwh)

知っておきたい得する経営情報

第16回

人手不足への対応

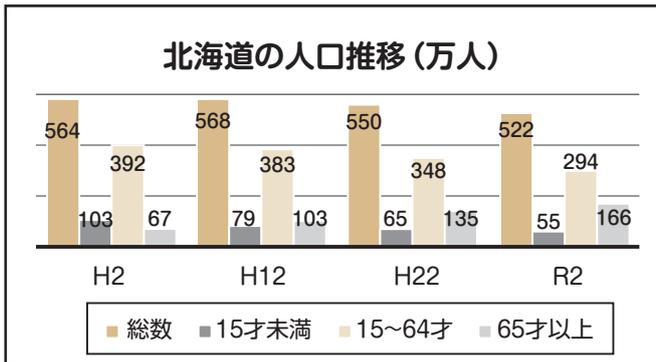
農繁期を除いてほぼ毎月、きたそらち農協の組合員の方を対象に経営相談会を実施させて頂いております。その中で多い相談事の一つに法人化があります。法人化を志した動機を尋ねるとほとんどの方が人の確保のとおっしゃいます。

経営移譲を受け、最初は家族で賄っていた農作業も、年齢を重ねる毎に先が見えてくるのでしよう。いづれは親の労働力に頼れなくなる中、地域の農業の担い手として面積は増えていく。営農を継続するためには、人手の確保が必要なのが現実味を帯びてくるのだと思います。

北海道の人口推移

戦後連続して人口増加を記録していた札幌市が令和3年度に初めての減少を記録しました。以来連続で減少を記録しております。

北海道全体でみると次のグラフの通りです。



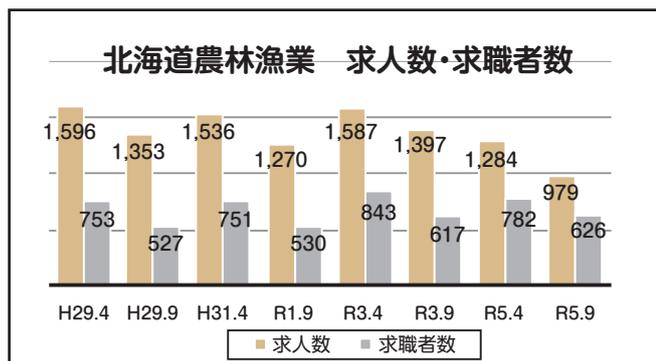
北海道の総人口は平成2年から令和2年の30年間で42万人減少しました。その内、生産年齢人口と呼ばれる15才から64才の人口は98万人減少しています。これは現在の千葉県千葉市の人口とほぼ同じで、大都市が一つ消えるほどの減少です。

平成2年では392万人いた働き手が令和2年に294万人となり、代わりに65才以上の高齢者は67万人から166万人へ増加しました。それに対し15才未満の子供の人口は103万人から55万人へ減少しています。

このデータから、北海道の環境は働き手の確保が年々難しくなっていることが読み取れます。

一次産業の状況

次に農林漁業の求人・求職者の状況は次のようになっています。



北海道労働局の統計を基にグラフ化したものです。求人数に対して求職者数は概ね半分となっており、慢性的な人手不足が見られます。

人手不足への対応

農業の特性上、小規模であるほど通年での雇用は難しく、繁忙期の短期労働力への需要が高い傾向にあります。

その需要に応える仕組みがデイワークです。

今までは家族や近隣の作業に慣れた方が繁忙期の労働力の中心でした。初対面で農作業未経験の方に作業を頼むことに不安を感じる方も多いかと思えますが、生産者・求職者共に相手の評判をコメントできるような仕組みとなり、双方が安心して利用できるような仕組みづくりがされています。



スムーズに作業するために

デイワークは1日単位の雇用なので、仕事を「働きながら見て覚える」時間はありません。また、毎日違う人が来る場合もありますので、全員に指導の時間を割くことはできません。ですので、今までの作業に慣れた人をお願いするのと違うノウハウが必要です。

スムーズに作業に入ってもらうためには、作業内容や手順、指示の明確化が重要です。スマホを使って作業手順マニュアルを共有し、実際の作業動画を見せながら伝えるなど工夫をすることで、教育時間の短縮と作業効率・作業品質の向上を図りましょう。

長期的な観点から

北海道の人口推移のグラフから分かる様に、働き手不足はますます加速していくことが想定されます。そのような状況下では、従来からの農作業の進め方を見直す必要も出てくるでしょう。

ロボットやAI等を駆使したスマート農業や、新たな栽培技術を導入することで省力化と効率化を図っていくことが持続的な農業を営む上で重要性を増していると思います。

そのような農業とするためには規模の拡大が必須となります。いかにハイテクな機械でも、小規模ではその効果を発揮できないのです。

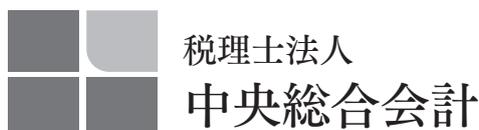
分かりやすい事例では、狭いアパートでロボット掃除機を使うようなもので

す。ロボット掃除機は広くて障害物の無い部屋で最大限に効果を発揮します。自動なので、掃除に割いていた時間をもっと生産性のある時間へ変えてくれることが最大のメリットです。元々少ない労力でできることには改善効果は発揮されません。

変化への適応

人口問題に限らず農業を取り巻く環境は確実に変化しており、かつ速度を増しています。

出来る範囲で新しい設備や技術を取り入れ、変化に適応することが大切です。

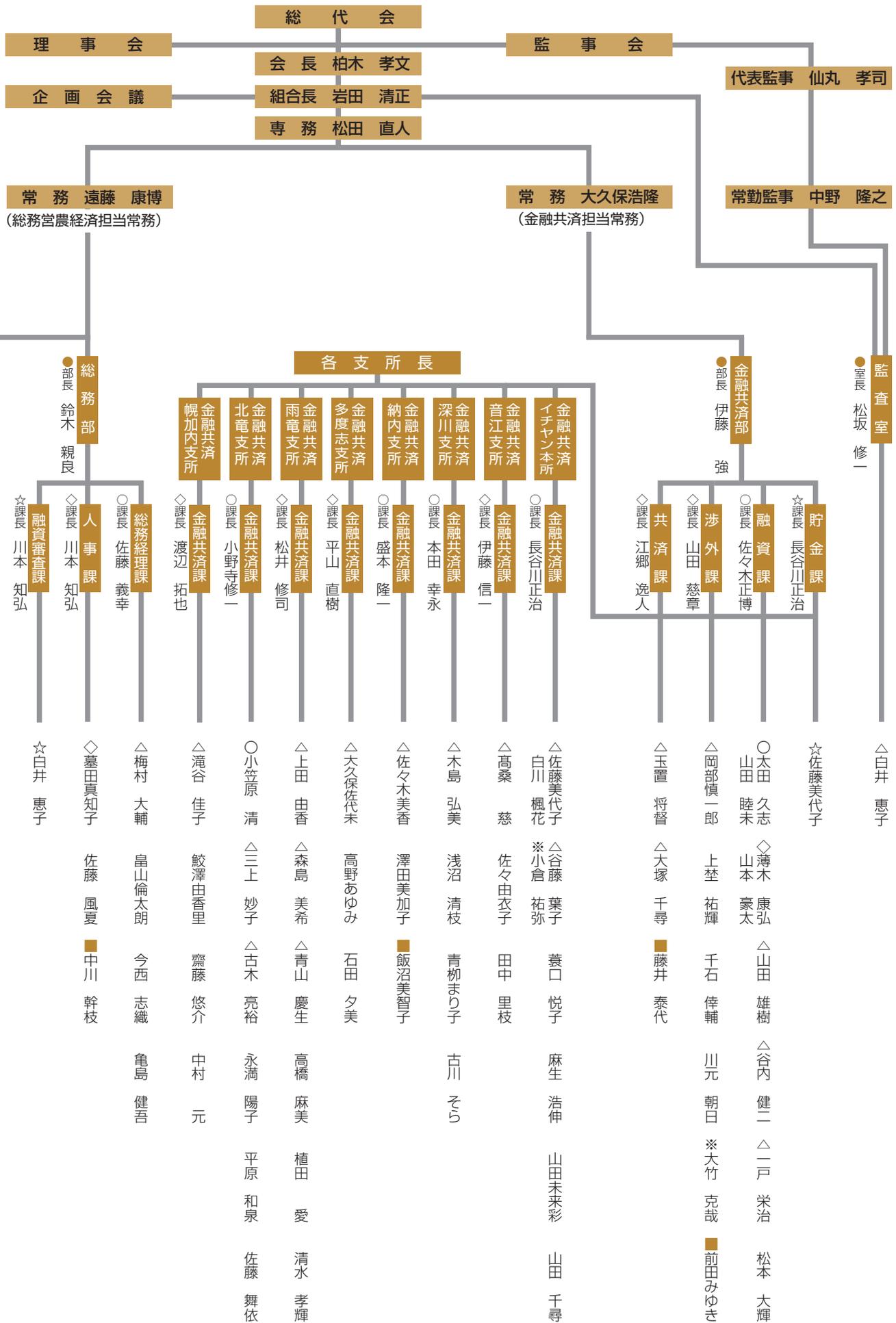


税理士法人
中央総合会計

「安心」が、私たちの商品です。

<http://www.csk-i.com>



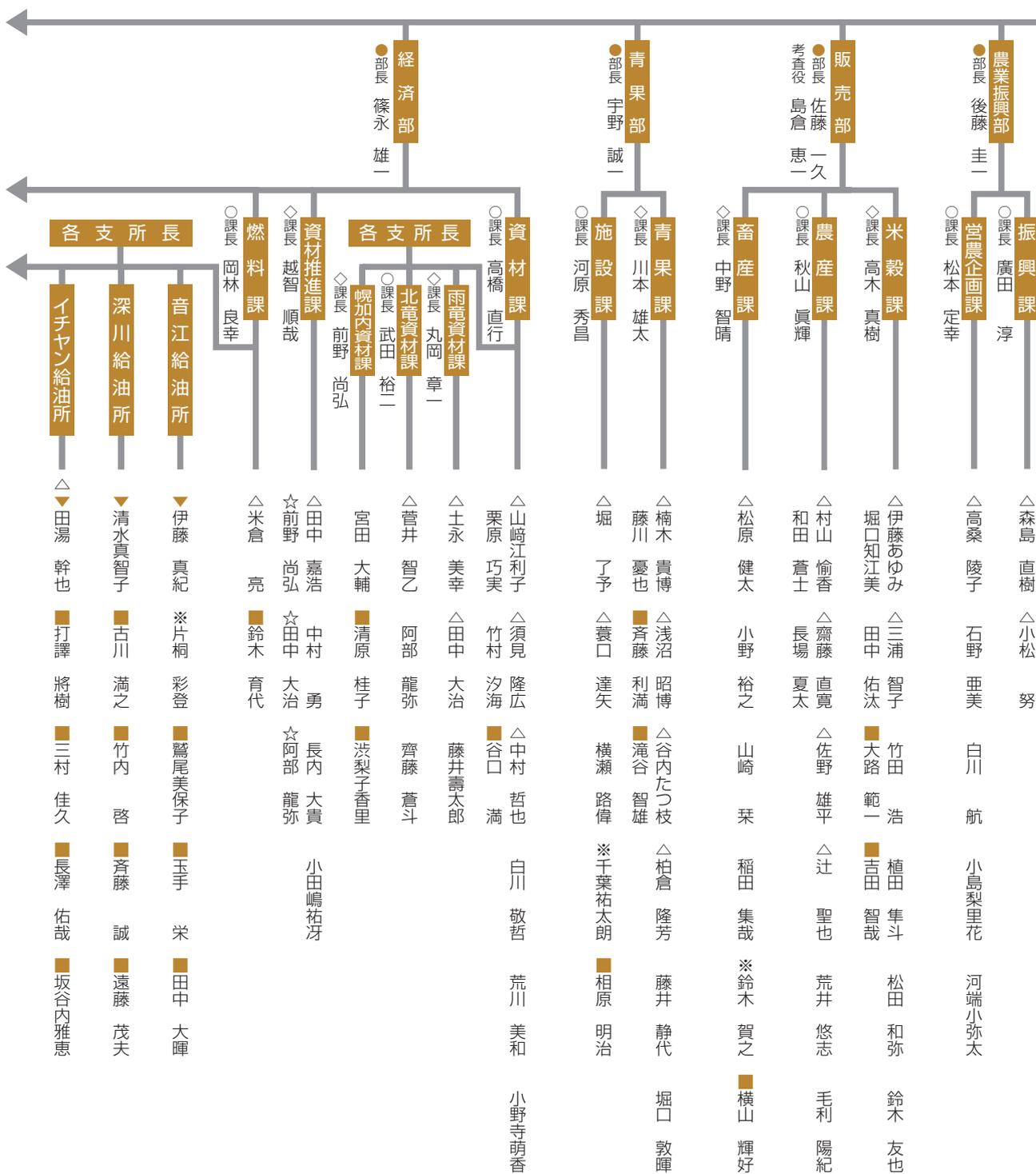


JAきたそらち機構図

(令和6年4月1日)

◆ 参事役	● 審査役	☆ 兼務
○ 考査役	◎ 課長補佐	□ 無期職員
◇ 調査役	▼ 所長・工場長	■ 嘱託職員
△ 主査	※ 新採用	

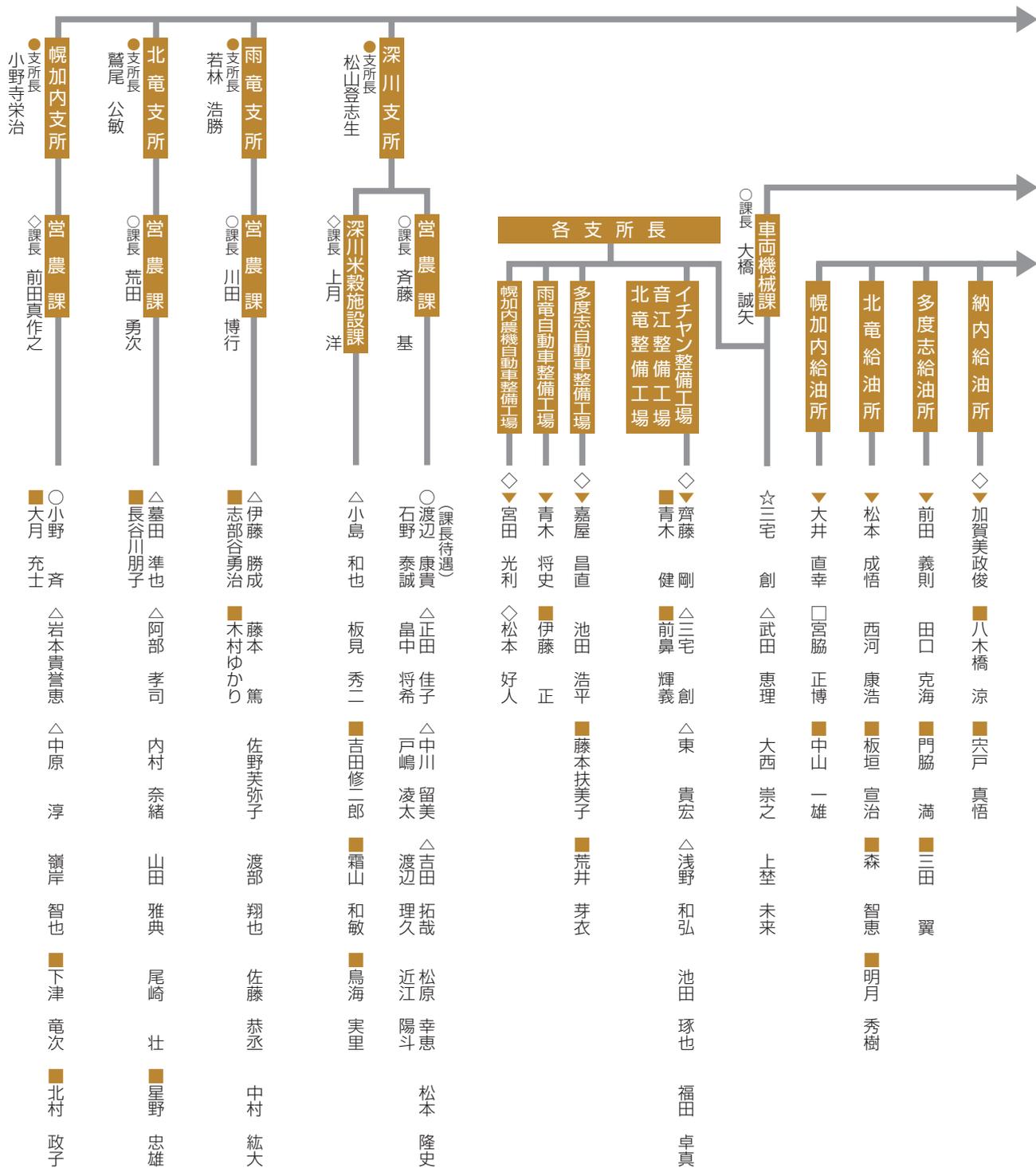
職員数			
	男	女	計
正職員	152	63	215
準職員	34	16	50
計	186	79	265



JAきたそらち機構図

北空知広域農協連

○立花 政志(課長待遇)
◇中川 大樹
富田 貴浩





物事をポジティブに捉える癖づけ

「JAきたそらち」の2月号の表紙に岩田組合長の「明」を初め常勤役員の方々、5名の「一文字抱負」が掲載されておりました。今回はそれに関連した話を。あれは新年を目前に控えた昨年の12月半ば。ある企業から研修の依頼がありました。この会社は私の創業以来のお付き合いでかれこれ30年強になります。この間、社長も変わり、親子3代にわたりお世話になっていきます。何かと経験を積ませてくれ、私を育ててくれた企業の一つでもあり感謝に耐えません。この企業の定年は60歳。それ以降の継続雇用をされている社員を「アドバイザー」と称しているのですが、その彼らを対象にした研修ということでした。とはいえ、その多くはこれまで何度も研修等で顔を合わせ、顔馴染みといってもよく「何を話そうか？」と悩んでおりました。そんな時、ふと浮かんだのが年末の風物詩にもなっている「今年の漢字」でした。それにヒントを得て、「今年1年を各人に振り返ってもらおう」という思いから、「あなたのこの1年を一文字漢字に表すと？」という課題を与え、それを皆の前で発表してもらい明年度に繋いでもらうようにと考えたのです。待つこと5

分。いざ発表となり、「受講者6名がどんな漢字が出されるやら」と期待をしておりました。すると、実際には「悲」や「寂」などネガティブなものばかり。せいぜい、良かったのが「普」と変わりが無い」ということの「普」くらいです。でも年齢からみるとそれも致し方がないのかもしれない。理由としては「母親が亡くなって」とか「子供が1本立ちしたので」などで、どこかで共感する気持ちもあつたからです。何せ当初、「講師として自己開示も必要では」と用意していた私自身の漢字も「別」だったのですから。わが家で飼っていた愛犬ジョンが、あと1ヶ月で19歳になろうとしていた時に亡くなり、しばらくペットロスの心境になり、正直、賀状を出すのにも抵抗があつた私でした。でも、「せっかくなので研修がこうした負のメッセージのみで終わってしまうのはいかげなものか？」と考え、「流れを変えなければ」と急遽、「再」と変え紹介をしました。その理由はこうです。一昨年の師走に、地元帯広の飲食店ビルの一面を借り、小さな一品料理屋がオープンしました。何を隠そう、そのママは私の元嫁なのです。別れて40年あまり。離婚後、息子を連れて十勝から離れたものの、彼も一本立ちをし両親の介護等

があり帰郷。そして両親が亡くなったことなどもあり一念発起し、これまでの飲食関係に携わったキャリアを生かし「生き甲斐」を求め出店を決意したのです。でもその頃はコロナ禍がまだ収まっておらず、しかも彼女は七十路半ば。周りは反対の声が圧倒的で、そうした中での出店でした。加えて予想だにしない事態に。なんとオープン後、間もなく彼女に悪性リンパ腫が発覚。そうした不安満載の船出になりました。元夫としては同じ町に住む身として、そちらぬふり「もできず、いつしか彼女の「生き甲斐支援団」に。こうして彼女との再会はもとより、お陰でこの「いわく付きの店」を通じて、創業時に何かとお世話になりながらも疎遠だった方達との、ここが絶好の出逢いの場に。そんな意味での「再」なのです。そしてこの研修の結びには「凛として朽ちる」という考え方もあるのでは」という言葉を添えて。

企業にとつて勤める従業員が「どのような考え方をもち働いているか？」はとても重要です。それが組織風土を築き未来に繋がります。お互いに可能なら物事をポジティブに捉える癖づけをしたいものです。

【著者】石田邦雄（いしだくにお）氏

1946年北海道新得町生まれ。(有)石田コンサルタントオフィス代表取締役、めでの研究室主宰。国鉄、会計事務所を経て中小企業診断士として独立開業。

現在は社会保険労務士、キャリアコンサルタントとして、組織改革や人材育成に携わる。人と企業のマッチングを目指し、中小企業大学校を初めJAカレッジなど、多くの団体、企業と携わる。「教えるよりも考える」、「学ぶより気づく」を柱に、体験学習を交えたわかりやすい研修が特徴。著書に「産業カウンセリング」や「縁を紡ぎ、人を育む」など多数。



金融共済部からのお知らせ

いつ起こるか分からない
火災等・自然災害に備える



農業用建物内収容品保障プラン

例えば、このような事故・災害が発生しても・・・

<p>火災</p> <p>・バッテリー、配線ショート等による火災で収容品が損傷した</p>	<p>風・雪害</p> <p>・大雪により建物が倒壊し収容品が損傷した</p>	<p>盗難</p> <p>・建物に収容されていた農業機械が盗難被害を受けた</p>	<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震により建物が倒壊し収容品が損傷した ・建物内をトラクターで走行中、運転操作を誤り衝突した農業機械が損傷した* <p>※トラクターの損傷は除きます</p>
---	---	---	--

*建物内に収容されている時に生じた損害に限ります。

JAのむてきプラスがしっかりと保障します！

<p>POINT 1</p>	<p>火災はもちろん、地震や自然災害まで幅広く保障します！</p> <p>※共済金のお支払いには所定の条件があります。</p>
<p>POINT 2</p>	<p>買い替え・修理にかかった実損害額を保障します！</p> <p>※約款に定める基準により算定した損害額について、火災共済金額を上限にお支払いします。</p> <p>※地震等による損害を除きます。</p>
<p>POINT 3</p>	<p>共済掛金の一部を必要経費に計上することができます！</p> <p>※お支払いいただいた共済掛金のうち、満期共済金に充てるための積立共済掛金に相当する額を控除した残額を必要経費とすることができます。</p>

ご契約例【保障の対象：営業用什器備品】

火災共済金額	1,500万円	満期共済金額	50万円
--------	---------	--------	------

※共済価額：1,500万円 臨時費用共済金の支払割合 30%

共済掛金（払込方法：年払 口座振替扱い）

（2023年4月現在）

農作業場・倉庫など（普通物件第1種）

単位：円

保障期間	建物の構造		
	木・防火造	耐火造 B・C	耐火造 A
30年 (10年継続2回)	87,734	60,117	50,282
20年 (10年継続1回)	95,856	68,246	58,414
10年	120,702	93,113	83,290

籾・雑穀乾燥施設[※]など（普通物件第2種）

※火力乾燥を行うもの

単位：円

保障期間	建物の構造		
	木・防火造	耐火造 B・C	耐火造 A
30年 (10年継続2回)	93,534	60,953	53,145
20年 (10年継続1回)	101,646	69,081	61,276
10年	126,457	93,941	86,148

※お引受けには所定の条件があります。

※継続特約を付すことにより、通算の共済期間を20年または30年にすることができます。継続後のご契約に適用される約款・掛金率は、継続の時に定める約款・掛金率となります。満期共済金は継続回数継続したあとのご契約の共済期間が満了した際にお支払いします。

※記載の税務の取扱いは、2023年1月末現在の法令等および国税当局への照会結果に基づくものであり、将来の取扱いを保証するものではありません。

金融共済部からのお知らせ

Q1: 農業用物件とは？

A1: 農作業場、糶乾燥施設、個人が所有する住宅敷地外の倉庫や農業法人が所有する倉庫などをいいます。

※住宅と同一敷地にある納屋や格納庫は「住宅物件」となり、それらの建物に収容されているものは「家財家具」となります。(お引受けには所定の条件があります)



Q2: 保障の対象になる収容品とは？

A2: 以下のような収容品が対象となります。

項目	具体例
農耕作業用 小型特殊自動車	トラクター、コンバイン、田植機など ※道路運送車両法に規定する自動車を除きます。
農業機械	スプレヤー、モアコンディショナー、ロールバレーなどの被けん引作業機 糶乾燥機、糶摺機など ※1つあたり再取得価額1億円以内のものに限ります。
農具	農業に使用している工具や鋤など
農業用資材	農業に使用する農薬、肥料、飼料、牧草ロール、エサ用のわらなど ※商品は除きます。
その他	冷蔵庫、洗濯機など

※表記は一例です。

※外壁の一部または全部を欠く建築物(特定建築物)の収容品はお引受けできません。



**いつ起こるか分からない
火災等・自然災害に備える**

お問い合わせ先

JA共済 JAきたそらち

本所 TEL 0164-22-6619 多度志支所 TEL 0164-27-2111
音江支所 TEL 0164-25-1111 雨竜支所 TEL 0125-77-2331
深川支所 TEL 0164-22-2171 北竜支所 TEL 0164-34-2280
納内支所 TEL 0164-24-2211 幌加内支所 TEL 0165-35-2024

※お引受けには所定の条件があります。

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

[23019990036]

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp

1	2	3	4	5	6	
7				C		
8		D		10	11	
12	13		14	15		
16		17			18	19
20		21		22		
23		24		25	26	
27					B	28

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

【タテのカギ】

- 動物の頭にある、固くつき出たもの。
- うそ・偽りがなくこと。「うそからでた○○」
- 刃物などで切った傷
- 話題の女の人。恋人の女性⇔彼女
- 主義・主張・目的などを同じくする人「○○を募る」
- 二つの物の間に空いている狭い空間。「○○時間」「○○風」
- 外から観察してわかる、そのものありさま。「○○をうかがう」
- 湿り気が多く、じめじめした土地。
- 太陽がしずもうとしているころ。日の暮れるころ。
- 領有している土地。領土。
- 本当の刀剣。心をこめて、本気でするさま。
- 陸地を掘って船が通れるようにした水路。「小樽○○」
- 地下のくきや根にでんぶんなどをたくわえて、たくふくらんだもの。
- 任務を負わされること。負担をかけること「○○がかかる」
- 釣り糸につけ魚がかかったことを知る手がかりになるもの、浮かすもの。

【ヨコのカギ】

- 激しい風の渦巻き。トルネード。
- 受信機・測定器などが電波や電流を感じる度合い。「○○が悪い」
- あとに残っているもの。あまりもの。
- 過去から現在、未来へと切れ目なく一定の速さで流れていくもの。時間。
- 女の子。女兒。娘。⇔男子
- 海や川が陸と接する境目。水ぎわ。
- 図と表。
- 大勢が集まって楽しむ、にぎやかな催しもの。「夏○○」「ひな○○」
- 酢を加えた飯に魚や卵などをのせた食べ物。日本食。
- 学校・会社などで朝、始業前に全員であいさつや連絡を行うこと。
- めぐり合わせ。ラッキー。「○○がいい」
- 利益、得。「○○ができる」
- うっかり、まちがって思い込むこと。思い違い。
- 値打ちのある金属で、非常に重く、黄色いつやをもつもの。

2月号の正解は

「ユキマツリ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 鈴木 久恵 様
 深川市 久松千津子 様
 札幌市 中村 羽那 様

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切4月30日消印有効で当選者とクイズの答えは令和6年6月号に掲載します。

【送り先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課 FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。



三月俳句

● 雨竜俳句会

斜交いに近道つける雪の道
 吹雪止んで空の青さや静心
 野兎や空き家を我が家としていたり
 体調は三寒四温の波に揺れ
 今朝の海季節を知らせ練群來

北川 満江
 小山 邦男
 松木 五月
 宮武めぐみ
 吉見サヨ子

● 「道」俳句会 北竜支部

三匹の画布の子猫や風光る
 野の果てへ影が尾を引く雪解風
 雪間草あたりまえて凄いいこと
 雪囲解くや首肯の松一樹
 雪室の野菜目覚める朝餉かな
 さくら餅頬張る孫の口に銘
 村のダム目覚めて映す桜かな
 桃の日や母子で蕾の枝を活け

山本 玲子
 山岸 正俊
 吉尾 広子
 阿部れい子
 山下 好晴
 中島 雅子
 宮脇美和子
 佐藤美智子

● 土筆俳句会

星青く風に棘ある遠き春
 春月や戦争放棄の日本良し
 子は嫁ぎ一人で生ける桃の花
 退院を告げる笑顔や春の空
 春を告ぐ樹液脈々甘やかに
 道急ぐ友逝きし日も花冷えか
 春光に家のあちこち目立ちけり
 閑校や落書き残り卒業す
 冬ざれや優駿の里風静か
 寒明けや八十路の背を搔く弥陀の声

高尾美津子
 池田 美知
 山川 輝子
 南川富美子
 佐藤英三子
 滝口富美子
 菅原 優子
 森田裕美子
 沼田留美子
 小橋 厚子

第1回理事会〈令和6年2月27日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
2. 内部監査報告について
3. 組合員の加入脱退について
4. 令和5年度決算資産自己査定結果について
5. 令和5年度経営定期点検結果報告について
6. 反社会的勢力等との取引状況について
7. マネーローダリング等の取引状況について
8. コンプライアンス事故報告について
9. JA理事との利益相反取引実績について
10. 固定資産の取得・修繕について
11. 職員の人事及び業務事故について
12. 営農懇談会の開催日程について
13. 第24回通常総代会議長について
14. 役員報酬審議会の答申について
15. 役員推薦会議の内容について
16. 貸出金の貸付報告について

- 議案第1号 北海道常例検査に対する回答について
 議案第2号 監査結果概要報告について
 議案第3号 組合員の出資金持分譲渡について
 議案第4号 令和5年度コンプライアンスプログラムの検証および令和6年度コンプライアンスプログラムについて
 議案第5号 令和5年度事業決算及び剰余金処分量について
 議案第6号 税効果積立金（任意積立金）の取り崩しについて
 議案第7号 令和6年度事業計画運営方針について
 議案第8号 令和6年度 余裕金運用について
 議案第9号 農業分野における女性参画の推進に係る定款・規程類の改定について

1. 役員賠償責任保険、身元信用保険及び個人情報賠償責任保険について

17. ALM委員会の報告について
18. クミカン要精算額の処理状況について
19. 貸付金利息・遅延損害金の減免について
20. 金融 相談・苦情等対応状況の定期報告について
21. 共済 相談・苦情等対応状況の定期報告について
22. 令和6年産米「生産の目安」の取組状況について
23. 令和5年度 農業教育振興基金収支報告について
24. 令和6年度「北育ち 元気塾」受講生の募集について
25. うるち米・もち米の情勢について
26. 水田活用米穀を巡る情勢について
27. 令和6年産北海道米取扱方針策定に係る主な変更点について
28. 令和5年度畜産物販売実績（1月末）について
29. 令和5年度 青果・花き集荷販売実績について
30. 経済部事業実績について

- 議案第10号 「JAバンクの内部管理態勢構築にかかわる指針」の変更について
 議案第11号 組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針の策定について
 議案第12号 貸出金利率の最高限度及び信用供与の最高限度額設定について
 議案第13号 理事に対する貸出事前承認について
 議案第14号 理事に対する貸出承認について
 議案第15号 貸出金の貸付について
 議案第16号 労働保険事務組合事務処理規程の一部改正について
 議案第17号 令和6年度系統外販売取引先選定について
 議案第18号 令和6年度 青果・花き生産振興対策（案）について

2. 中干期間延長によるJクレジットの取組について

第2回理事会〈令和6年3月7日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 職員の人事について
2. 令和5年度出資増口結果について
3. 令和5年度 太陽光発電収支報告について
4. クミカン要精算額の処理状況について
5. 令和6年度 再建組合員及び準指導組合員の選定について
6. クミカン貸越極度額の設定及び信用評価と対処方針について

- 議案第1号 令和6年度計量計画について
 議案第2号 令和6年度料金・料率の設定について
 議案第3号 役員を選任について
 議案第4号 役員退職慰労金の支給について
 議案第5号 令和6年度 役員報酬の支給について
 議案第6号 第24回通常総代会提出議案について
 議案第7号 雨竜支所粉仮置き庫建設工事請負業者の選定について

7. 令和5年度不良債権処理方針に基づく回収状況について
8. 令和5年度 農畜産物販売実績及び交付金等を含む収入実績について
9. うるち米過年産精算内容について
10. 経済事業の再編方針（案）について

- 議案第8号 令和6年度 不良債権の処理方針について
 議案第9号 クミカン貸越極度額の設定及び信用と対処方針について〈再建組合員〉
 議案第10号 理事に対する貸出承認について
 議案第11号 貸出金の貸付について
 議案第12号 令和6年度 賦課金の賦課及び徴収方法について

報告事項
提出議案
協議

報告事項
提出議案

農業振興部からのお知らせ

伝える、支える。

農業が変わる。



食料安保大綱策定を 基本法、23年度中の提出視野

自民提言案

の提言案のポイント

- 「食料安全保障強化政策大綱」の策定の抜本的な拡充と予算の確保
- 農業・農村基本法の見直し
- 改正案国会提出へ検討加速
- の評価指標の検討
- の国内生産拡大や安定輸入

な価格形成も重視する海外事例も踏まえた仕組みづくりを挙げた。担い手や中小家庭経営者など多様な人材の確保も掲げた。農地の確保に向けた国の関与を...

水耕×魚養殖で循環型農業

了は、えて進目環と排りてろ法を同水、

日本農業新聞
公式ウェブサイト
はこちら!



購読料1カ月(税込み)

本紙	2,520円
電子版	2,403円

THE JAPAN AGRICULTURAL NEWS
日本農業新聞

